平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名　一正蒲鉾株式会社　　上場取引所　大
コード番号　2904　URL　http://www.ichimasa.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 野崎　正博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 滝沢　昌彦　TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	17,320	5.1	1,502	23.8	1,502	24.6	672	1.1
23年6月期第2四半期	16,478	3.0	1,213	△28.2	1,205	△27.6	665	△41.8

(注)包括利益　24年6月期第2四半期　771百万円　(19.0%)　23年6月期第2四半期　647百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	72.62	―
23年6月期第2四半期	71.84	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第2四半期	22,553	6,537	29.0	705.95
23年6月期	17,770	5,859	33.0	632.61

(参考) 自己資本　24年6月期第2四半期　6,537百万円　23年6月期　5,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	―	0.00	―	10.00	10.00
24年6月期	―	0.00			
24年6月期(予想)			―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,800	0.6	1,270	△17.6	1,300	△14.6	680	333.0	73.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) (株)ノザキフーズ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	9,295,000 株	23年6月期	9,295,000 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	34,545 株	23年6月期	32,652 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	9,261,815 株	23年6月期2Q	9,263,917 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成23年７月１日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が残るなか、復興に向けた動きが広がりつつあるものの、欧州及び米国の経済不安に伴う円高長期化などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、厳しい雇用環境・所得環境への不安から消費者の節約志向・低価格化志向などの影響は継続しており、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の確保に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高173億20百万円（前年同四半期比８億42百万円（5.1%）の増加）、営業利益は15億２百万円（前年同四半期比２億89百万円（23.8%）の増加）、経常利益は15億２百万円（前年同四半期比２億97百万円（24.6%）の増加）、四半期純利益は６億72百万円（前年同四半期比７百万円（1.1%）の増加）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下の通りであります。

①　水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、東日本大震災以降、内食志向の継続による家庭での食事の機会が増えた一方、引き続くデフレ環境のなかで、競合企業との競争も依然として厳しい状況が続いております。

また、今夏は早期の梅雨明けと、その後の猛暑、さらに９月中旬まで続いた残暑など、長期間に及ぶ高温の継続により、水産練製品の需要にとっては厳しい環境で推移いたしました。

このような環境のなか、秋冬期間の主力商品である「おでん」メニュー商材において、「おでんセット」の商品力向上など、おでん商材のリニューアルを図り、また美味しさと簡便性から需要の拡大が続く「調理済みおでん」においても生産性の向上を図り対応してまいりました。

さらに、12月のおせち商材におきましては、健康志向・経済性志向に対応した新商品のご提案を行うなど、販売拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は145億72百万円（前年同四半期比９億60百万円（7.1%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は９億34百万円（前年同四半期は４億74百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

②　きのこ事業

当セグメントにおきましては、消費全体が鈍化するなかで、きのこの需要も低迷し販売価格も前年と比べ軟調に推移いたしました。

このような環境のなか、販売強化により販売量は前年同四半期を上回ったものの、売上高・利益は下回る実績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は23億43百万円(前年同四半期比１億26百万円（5.1%）の減少)、セグメント利益（営業利益）は５億28百万円（前年同四半期は７億13百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③ その他

（運送・倉庫事業）

運送部門におきましては、既存顧客の輸送コスト見直しによる便数減少に加え、燃料価格の高騰が続いたことなどの影響もあり、売上高・利益とも前年同四半期を下回る結果となりました。

倉庫部門におきましては、保管能力を上回る保管状況が続き、再保管関連経費が増加しましたが、効率的な保管業務に努めた結果、売上高・利益とも前年同四半期を上回る結果となりました。

（ゴルフ場事業）

ゴルフ場事業におきましては、長引く景気低迷や競合コースとの価格競争の激化が続いたものの、集客力向上に向けた販促企画提案による営業活動の強化に取り組んだ結果、来場者数、売上高とも前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は４億４百万円（前年同四半期比８百万円（2.0%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は37百万円（前年同四半期は23百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（イ）流動資産

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は90億85百万円（前連結会計年度末比38億71百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

（ロ）固定資産

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は134億68百万円（前連結会計年度末比９億12百万円の増加）となりました。これは主に新工場建設に伴う建設仮勘定の増加によるものであります。

（ハ）流動負債

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は124億29百万円（前連結会計年度末比48億26百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

（ニ）固定負債

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は35億86百万円（前連結会計年度末比７億21百万円の減少）となりました。これは主に役員退職慰労金の支給に伴う役員退職慰労引当金の減少によるものであります。

（ホ）純資産

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により65億37百万円（前連結会計年度末比６億77百万円の増加）となりましたが、自己資本比率は季節的要因による流動負債の増加などにより、前連結会計年度末の33.0%から29.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ１億97百万円減少し、３億47百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は５億６百万円（前年同期比２百万円の増加）となりました。

これは主に、季節的要因による売上債権の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億27百万円（前年同期比９億53百万円の増加）となりました。

これは主に、新工場建設に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は15億35百万円（前年同期比９億９百万円の増加）となりました。

これは主に、新工場建設に伴う短期借入金の増加によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年７月29日発表の通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社ノザキフーズは、平成23年７月１日付で当社に吸収合併されたことにより、連結の範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,000,118	786,616
受取手形及び売掛金	2,267,563	5,757,524
商品及び製品	418,615	778,638
仕掛品	334,943	378,940
原材料及び貯蔵品	1,041,244	1,124,427
その他	151,648	259,387
貸倒引当金	△466	△533
流動資産合計	5,213,667	9,085,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,629,885	4,497,222
機械装置及び運搬具（純額）	1,772,748	1,847,882
工具、器具及び備品（純額）	122,314	117,302
土地	3,652,781	3,652,781
リース資産（純額）	35,747	45,013
建設仮勘定	93,406	1,044,803
有形固定資産合計	10,306,883	11,205,005
無形固定資産	241,665	239,589
投資その他の資産		
投資有価証券	1,405,898	1,434,829
その他	671,337	657,176
貸倒引当金	△69,284	△67,806
投資その他の資産合計	2,007,950	2,024,199
固定資産合計	12,556,500	13,468,794
資産合計	17,770,167	22,553,795

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,426,867	3,220,600
短期借入金	4,640,368	6,848,722
未払法人税等	213,394	416,306
賞与引当金	100,218	79,751
未払金及び未払費用	1,073,631	1,587,422
その他	148,521	277,077
流動負債合計	7,603,001	12,429,879
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	3,096,687	2,578,251
退職給付引当金	1,017	1,224
役員退職慰労引当金	436,566	120,790
その他	273,420	386,187
固定負債合計	4,307,691	3,586,453
負債合計	11,910,692	16,016,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	4,173,724	4,753,658
自己株式	△16,471	△17,245
株主資本合計	5,747,253	6,326,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,222	211,049
その他の包括利益累計額合計	112,222	211,049
純資産合計	5,859,475	6,537,462
負債純資産合計	17,770,167	22,553,795

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年７月１日 至 平成22年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年７月１日 至 平成23年12月31日）
売上高	16,478,500	17,320,640
売上原価	11,703,517	12,233,638
売上総利益	4,774,983	5,087,001
販売費及び一般管理費	3,561,792	3,584,693
営業利益	1,213,191	1,502,308
営業外収益		
受取利息	212	209
受取配当金	10,516	11,200
受取賃貸料	11,516	11,183
受取手数料	19,466	17,141
雑収入	22,724	22,248
営業外収益合計	64,437	61,983
営業外費用		
支払利息	63,805	56,522
雑損失	7,981	4,856
営業外費用合計	71,786	61,379
経常利益	1,205,841	1,502,912
特別利益		
固定資産売却益	5	869
投資有価証券売却益	791	－
貸倒引当金戻入額	1,991	－
受取保険金	8,429	－
特別利益合計	11,217	869
特別損失		
固定資産除却損	4,102	8,287
投資有価証券評価損	413	62,164
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,303	－
役員退職慰労金	－	94,171
災害による損失	－	27,357
工場移転費用	－	97,317
特別損失合計	22,819	289,298
税金等調整前四半期純利益	1,194,239	1,214,483
法人税、住民税及び事業税	484,536	400,965
法人税等調整額	44,229	140,921
法人税等合計	528,765	541,887
少数株主損益調整前四半期純利益	665,474	672,596
四半期純利益	665,474	672,596

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	665,474	672,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,725	98,827
その他の包括利益合計	△17,725	98,827
四半期包括利益	647,748	771,423
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	647,748	771,423
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年７月１日 至 平成22年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年７月１日 至 平成23年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,194,239	1,214,483
減価償却費	491,140	474,227
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,303	－
のれん償却額	1,876	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,276	△1,411
賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,882	△20,467
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△14,400	－
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	13,310	△315,775
受取利息及び受取配当金	△10,728	△11,410
支払利息	63,805	56,522
投資有価証券評価損益（△は益）	413	62,164
固定資産売却損益（△は益）	△5	△869
固定資産除却損	4,102	8,287
売上債権の増減額（△は増加）	△3,361,358	△3,489,052
たな卸資産の増減額（△は増加）	△526,328	△487,202
仕入債務の増減額（△は減少）	2,122,991	1,793,733
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	276,522	475,155
その他	△61,985	△61,412
小計	204,740	△303,028
法人税等の支払額	△707,938	△202,981
営業活動によるキャッシュ・フロー	△503,198	△506,010
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	25,880	15,928
有形固定資産の取得による支出	△280,029	△1,243,965
有形固定資産の売却による収入	50	895
投資有価証券の取得による支出	△15,594	△3,445
投資有価証券の売却による収入	13,100	－
長期前払費用の取得による支出	△17,145	－
利息及び配当金の受取額	11,644	12,121
その他	△11,436	△9,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	△273,531	△1,227,499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	725,000	2,264,000
社債の発行による収入	500,000	－
長期借入金の返済による支出	△462,223	△574,082
利息の支払額	△60,625	△53,746
配当金の支払額	△74,142	△92,661
その他	△1,659	△7,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	626,350	1,535,936
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△150,379	△197,573
現金及び現金同等物の期首残高	521,237	545,087
現金及び現金同等物の四半期末残高	370,857	347,514

（４）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年12月31日）

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年７月１日　至　平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	水産練製品・惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,611,308	2,470,392	16,081,701	396,798	16,478,500	―	16,478,500
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	801,200	801,200	△801,200	―
計	13,611,308	2,470,392	16,081,701	1,197,999	17,279,701	△801,200	16,478,500
セグメント利益	474,372	713,817	1,188,190	23,609	1,211,799	1,391	1,213,191

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額1,391千円は、主にセグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	水産練製品・惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,572,253	2,343,558	16,915,811	404,829	17,320,640	―	17,320,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	800,876	800,876	△800,876	―
計	14,572,253	2,343,558	16,915,811	1,205,705	18,121,517	△800,876	17,320,640
セグメント利益	934,144	528,083	1,462,228	37,683	1,499,911	2,397	1,502,308

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額2,397千円は、主にセグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年12月31日）

該当事項はありません。